

なみせいだより

第18号

発行所 近畿税理士会浪速支部青年部

〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-2-17-3602 原 仁一税理士事務所内

発行人 原 仁 司

☎ 06 (6649) 6558

編集人 藤 本 伸太郎



目 次

浪速支部青年部 青年部 15 周年目に想いをよせて… 原 仁 司	(2)
伝言板	(2)
1 年を振り返って… 園田 容章・藤本伸太郎・榮村 聡二・鈴木 義教	(3)
税法とのお付き合い… 浪速税務署長 彦 坂 好 成	(4)
第 15 回青年部定期総会	
定期総会に参加して… 野 垣 匡 伸	(5)
講演会に参加して… 平安座 佐知子	(5)
なにわ探検クルーズに参加して… 小 川 一 郎	(6)
ボウリング参戦記「どうしたの、今年は」… 大 野 裕 康	(6)
入船！皆さん、よろしく… 西川 弘晃・西本 毅	(7)
ファミリー参加レクリエーション… 西川 弘晃・猿木 大河	(8)~(9)
ご鼎賛に！—私のお勧め—… 金 本 昌 史	(9)
平成 21 年度青年部活動だより	(10)
編集後記	(10)

浪速支部青年部

青年部15周年目に想いをよせて



青年部部长

原 仁 司

平成7年12月1日青年部の機関紙として「なみせいだより創刊号」が産声を上げ、当時の青年部長である大野裕康先生が「浪速支部青年部の存在ベース」は「縁の不思議」を大切に、誰からも近く、等しい距離にある青年部を目指し、その活動や運営を通して、より親しく、頼り合え、楽しく、元気なパーティーに育つよう、そしてその活動や運営を具現するシンボリックな存在が「なみせいだより」であれば当時の創刊の想いを語られています。

そして月日は流れ、その青年部も15年に至る歴史を刻み続け、気付けば歴史の浅い私も、部長職を拝命してから既に2期目に突入している事に驚き、今更ながら当初の初心やスローガンを邁進出来ているのだろうか、改めて自問自答しその「温故知新」の重責を感じています。

今期、支部は30周年を迎え様々な行事が開催され、浪速支部の歴史を感じつつ、青年部も追従するように、早15周年に至る歴史を連綿と刻ん

でいるのも、先輩先生方の多大なる尽力の積み重ねの賜物であり、先輩先生が培って来られた青年部の存在意義や方向性並びにその活動や実績を今一度再認識し、その時代の変化に呼応しつつ、「青年部のキーワード」というバトンを今後も伝え続けていければ、その一時点に関われる事が出来て感無量の想いです。

最後に、この一年を振り返って、浪速支部の先輩先生方並びに会員先生方の青年部に対するそれぞれの想いが、厳しくも温かく見守って下さり、陰日向に助けて戴いている事を切に感じ、心より御礼申し上げますと共に、今後も「青年部らしさ」をスローガンにチャレンジしてゆきたいと存じますので、忌憚ない叱咤激励をして戴き、重ねて変わらぬご支援・ご理解・ご協力を改めてお願い申し上げます。



《ご寄付のお礼》

前第17号の本紙上に於きまして当青年部運営のご寄付をお願いいたしましたところ、現在まで35名の先輩先生方を含め59名の皆様方より総計675,000円のご厚志を頂戴いたしました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

《会員異動（前号編集以降）》

入 船/木 村 明 子	敷津東1-4-14	磯部光淳税理士事務所	☎ 6649-0115
西 川 弘 晃	日本橋4-1-14	中谷裕之税理士事務所	☎ 6644-5220
西 本 毅	元町3-1-210-5B		☎ 6647-5605
平 田 智 之	難波中1-10-4-13	税理士法人プラス	☎ 6634-4502
福 井 伸 幸	難波中1-10-4-13	税理士法人プラス	☎ 6634-4502
若 山 有 子	難波中1-10-4-13	税理士法人プラス	☎ 6634-4502
出 船/和 泉 剛	(南支部へ) 準会員	細 田 亨 (南支部へ)	
奥 野 一 彦	(泉佐野支部へ)	前 田 尚 宏 (南支部へ)	
川 人 基 司	(東支部へ)	吉 村 浩 至 (奈良支部へ)	
黒 山 寿 文	(泉大津支部へ)	和 田 武 史 (豊能支部へ)	

浪速支部青年部**1年を振り返って**

総務委員長

園田 容章

みなさまこんにちは。総務委員長をおおせつ
かっております、見た目もおっさん、園田でござ
います。原部長のもと本当に総務委員長として、
仕事が出来ているのか自問自答している今日この
頃です。青年部の会員が減少傾向にあり、いかに
会員を増やし、いかに盛り上げるか、試行錯誤し
ている最中です。これは、今後永遠のテーマにな
ると思います。浪速支部会員先生方のご協力を仰
ぎながら、今後も原部長をサポートし活動してい
く所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほ
ど、よろしくお願いいたします。



広報委員長

藤本 伸太郎

昨年の9月からはや1年、原青年部長のもと
で微力ながら広報委員長を務めてきました。

何とか去年に引き続き「なみせいだより」を無
事に皆様にお届けできることになり、感謝と御礼
の気持ちで一杯です。このように広報委員長とし
て「なみせいだより」をお届けできたのには「浪
速支部青年部には何かある!!」と感じています。
その何かは、今年のドラフト会議で騒がれた
某S投手の言葉を借りれば、『仲間』です。それは、
まず青年部長を初めとする各委員長と青年部役員
の仲間、そして浪速支部の諸先輩先生並びに青年
部会員の先生といった素晴らしい仲間です。

2年目も素晴らしい仲間にご協力をいただき、
微力ながら務めてまいる所存でございますので、
ご支援、ご鞭撻の程何卒よろしくお願いいたします。



研修委員長

榮村 聡二

青年部研修担当として、今年は大きな出来事が
なく、個人的には近畿税理士会制度部において、
「税理士制度の歴史」をまとめ、「近税パソネッ
ト 21」に掲載できたことが一番印象に残ること
でした。なにせ、8月の猛暑の中、仕事もほった
らかして月の半分以上を費やしたのですから。社
会情勢、税制の歴史とリンクさせた年表が好評で、
努力の甲斐があったとほっとしています。

ぜひ青年部の先生方も「近税パソネット 21」
の「制度部からのお知らせ」をご覧ください。歴
史を辿り、今後の税理士制度について一緒に語り
合いましょう。

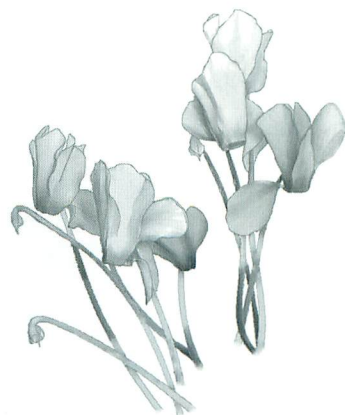


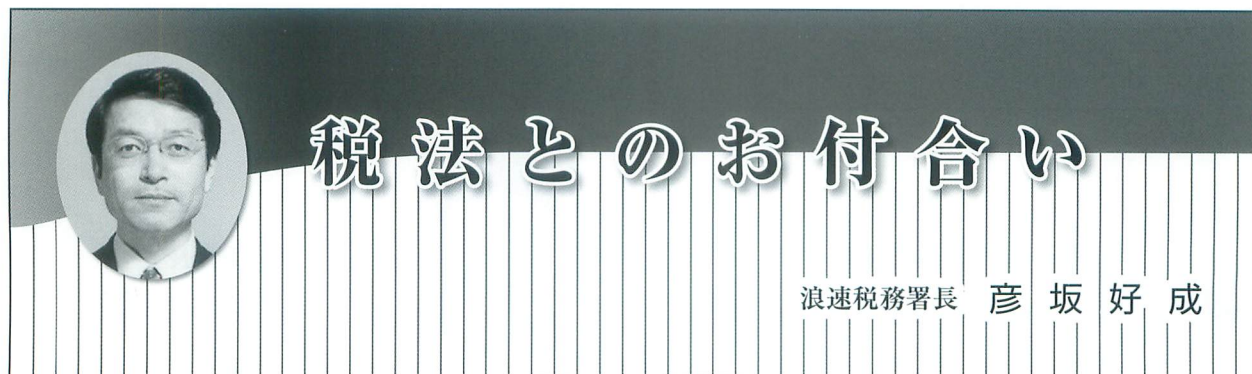
厚生委員長

鈴木 義教

こんにちは、厚生事業を担当しております鈴木
です。ファミリー参加レクリエーションなどご家
族様を含めて和気あいあいと楽しめる催しは、青
年部ならではのものと思います。

今後も、そのような企画をいたしますので、皆
さま揃ってご参加くださいますようお願いします。





税法とお付き合いして30年。妻より長い。妻と意見が異なるときは話し合いによるが、税務職員としての立場上、税法との付き合いでは常に彼（彼女）に従う。

最初の出会いは昭和55年4月、税務大学校でのこと。分厚い税法六法を配られ、通則法や法人税法など3か月がむしゅらに勉強した。その後浪速署に配属され、法人税調査を担当したが、勉強不足のため上司や先輩、先生方に変な迷惑をかけた。3か月の形式的な詰込み勉強では役に立たず、何より税法の気持ちが分かっていないことに気付いた。お付き合いは人も税法も同じ。

以後、課税処理で悩んだ際には、該当条文や通達に「何故お前がいる?」「お前は何か言いたい?」と問いかけ、その気持ちを理解してから結論を出すようにしている。制度ができた背景や趣旨を理解して判断すれば、大きな誤りはないと思う。

お付き合いしていく中で、人もお互い変わっていくように、税法も世の情勢に応じて変わっていく。実際費課税もその一つ。昭和29年に創設され、高度成長期には様々な改正が行われ、その後、大企業は全額損金不算入（S57）、中小企業の定額控除限度額内でも10%損金不算入（H6）、一人当たり5,000円以下の飲食費は課税対象から除く（H18）などの改正が行われた。振り返ると、改正事項を一生懸命勉強し、当時のお付き合いが懐かしい。

そんな自分が平成元年に国税局の審理担当に。当時は「新規取得土地等に係る負債の利子の課税の特例」や「土地重課」

などバブルを象徴すべき税制や消費税とお付き合いし、複雑・難解な事案に忙殺される毎日であったが、今思えば一番充実していたような気もする。平成7年には阪神・淡路大震災が発生し、被災納税者に対し税制としてどのように対応すべきか、被災地を抱える大阪局として意見を出して欲しいと言われ、殆ど寝ずに救済措置を考え、国税庁を通じて大蔵省に要望し、震災特例法ができた。これまで税法を執行する立場であったが、作る仕事の役を担わせていただき、しかも、被災者の負担軽減や被災地復興の一助となったこと、思い出に残る。

直近2年間は国税庁で監察官として仕事をした。単身赴任のため大阪に帰るのは月1回。監察官は、財務省設置法で「国税庁所属職員について、職務上必要な監察及び職務犯罪に関する捜査を行う・・・」と定められている。浮気ではないが、当時は税法ではなく刑法や刑事訴訟法と付合った。刑法は、例えば詐欺罪では「人を欺いて財物を交付させた者は、10年以下の懲役に処する。」と、税法に比べ条文は非常に短い。しかし、詐欺罪が成立するかどうかで、構成要件に該当するか? 違法性は? 有責性は? と悩んだことが度々

あった。単身赴任で家族の大切さを痛感したように、税法を離れて刑法を勉強し、税法の魅力が更に深くなった。

再び浪速署で勤務することになり、30年前の初めての出会いの時のような新鮮な気持ちで税法に接し、税務行政を行っていきたい。末長いお付き合い、よろしくお願いします。



◀ 第15回青年部定期総会 ▶

定期総会に
参加して

野 垣 匡 伸

平成22年9月17日、道頓堀ホテルにて浪速支部青年部の第15回定期総会が開催されました。

総会は平成22年2月に入会されたばかりのフレッシュな西川先生の司会進行のもと、原先生の部長挨拶、広報担当の藤本先生は“なみせいだより”を中心に、研修担当の榮村先生は、“なにわクルーズ”を中心に、厚生担当の鈴木先生は“ファミリー参加レクリエーション・ボウリング”を中心に、事業・活動報告がありました。続いて、園田先生による会計、内海先生による監査の各報告が行われました。ここまでは質問もなく賛成多数で承認されました。

次に、役員の追加承認について原部長から説明があり、西川先生の任期中途での選任が賛成多数で承認されました（研修担当になります）。引き続き、原部長から30周年記念事業協賛金の議案が上程され、30万円を浪速支部の記念事業委員会に贈呈することが賛成多数で承認されました。

最後に、ご来賓の中谷支部長よりご祝辞を賜りました。ご祝辞の中で、中谷支部長は30万円の協賛金の御礼と平成23年度の税理士法改正予定について述べられていました。そして、西川先生の閉会の辞をもって、総会は無事終了しました。

今回の原稿を書くに当たって、過去の“なみせいだより”を引っ張りだしたところ、今回が3回目の定期総会の原稿だと気づいたんですが、結果的には内容が一番薄っぺらいものになってしまったことを申し訳なく思っています。

講演会に
参加して

平安座佐知子

平成22年9月17日、浪速税務署彦坂署長を講師にお迎えし、講演会が開催されました。テーマは、「税よもやま話～あれから30年～」。昭和55年に浪速署に赴任され、30年後に再び赴任され、当時の管内の状況から変化を感じられた事等、語って下さいました。30年前に浪速署において、隆盛を誇っていたような企業、金融機関が、現在存在しない事を語られたとき、浪速で生まれ育った私ですが、今更ながら、時の経過を感じいました。

新人時代の調査や、先輩にお仕事を教えていただくためのお付き合いのお話は、私どもの勤務時代を思い浮かべ、昔なつかしい昭和の香り漂う感じで聞いておりました。

そして、私が襟を正さずにはいられないお話が、「法人税基本通達前文の第二に…」のお話でした。日本と海外の算数の教え方を例に挙げられ、課税の公平が大前提であり、税法や通達による統一的、画一的な処理ではなく、原点に戻ることの大切さを語って下さいました。

忙殺される日々のなか、「税理士とは、税理士の使命とは…」と改めて考える貴重な時間を頂き、お忙しいなか、青年部の為に講演いただきました彦坂署長に、心中よりの御礼を申し上げます。ありがとうございました。





なにわ探検クルーズ に参加して

小川 一郎

平成21年12月18日の夕方、湊町リバープレイスの乗船場から遊覧船に乗り込み、原部長の挨拶の後、「落語家と行くなにわ探検クルーズ」は、始まりました。大阪の街を落語家さんの軽妙なトークで川から眺めてみようという趣旨のツアーです。遊覧船は平坦な形で、大阪の大変低い橋を何個も通過するため、潜水艦と同じように、船体に川の水を取り込むシステムを採用しており、船ごと沈めて低い橋の下もスイスイと通れるようになっています。遊覧船の天井は後方にスライドして開閉するため少し寒かったですが、景観ポイントでは、フルオープンで景色を満喫できました。

順路は、道頓堀川～木津川～堂島川～大川を、その間約30程の橋の下をくぐり、折り返すルートでした。まず、道頓堀川から木津川にさしかかるところに道頓堀川水門があり、遊覧船が前後の水門に閉ざされた後、次の木津川の水位に上昇して、前の門が開きます。大阪でこのパナマ運河のような水門が見られるとは、ビックリしました。その後、京セラドーム大阪を左手に見ながら木津川を北上し、堂島川に入ると近代的な建物の大阪国際会議場とリーガロイヤルホテルが見えてきます。そして、白い巨塔の舞台となった旧阪大付属病院の跡地に出来た、ほたるまちにある朝日放送を左に見ながら、近くに堂島ロールで有名なお店が近くにある四つ橋筋の渡辺橋をくぐりました。そして、御堂筋の大江橋にさしかかり、緊迫したBGMが流れ始めました。この橋は、アーチ状になっており、真ん中を通らないとこの遊覧船でも橋にぶつかってしまうとのこと。徐々に橋に近づき、無事に橋の真ん中を通過でき一安心。そ



して、東京駅の建築家と同じという大阪市中心公会堂の横を通り、大川に出て、昭和3年に再建され、意外に新しいという大阪城天守閣を眺めながら折り返しました。帰りの道中では、落語家さんが、おなじみの扇子を簪に見立ててそばやうどんなどを食べる芝居のコツを実演してくれました。

1時間半ほどのコースでしたが、近代的なビル群とそれと対照的なレトロな建物のある大阪の風景を、迫り来るような低い橋をくぐり抜けながら、川から眺めることで、普段目にする大阪とは一味違う、新しい水都・大阪の街の魅力を再発見できました。



ボウリング参戦記 「どうしたの、今年は…」

大野 裕 康

6月10日の午後、長期の出張を終えて静岡と山梨の甲府を結ぶJRの身延線の車中、ハードスケジュールから解放されての美味しいビールを飲みながら、何気なく広げた手帳の本日の欄に「青年部ボウリング大会・欠席」との書込み。「ああ、今日だったんだ」とその時はそれで特に何も思わなかったのですが、静岡で乗り換えた新幹線の車内アナウンスで告げられた新大阪への到着時間が意外と早く、「これなら間に合うか」ということで、世話役には迷惑を掛けてのドタキャンならぬドタ参加となりました。

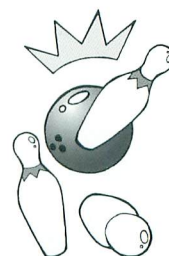
新大阪から大きなバッグを携えて現地直行、枯れ木も山の賑わいと気楽な参戦のつもりが、いざ蓋を開けてみたらビックリ。自分でも驚くほどにピンが踊り、5THもあつたりの232点の望外の1ゲーム目。ちょっとやりすぎの思いがよぎる中、2ゲーム目は不遜な調整心にバチが当たったのか、打って変ってのボロボロとなり、世の中良くてきていると打ち上げのビールを飲んでいたら、なんと優勝ということで、4月の浪一会300回記念に続いてのグロリーを頂戴することに。まさに驚き桃の木山椒の木でありました。

それぞれがそれぞれの時代の思いを持つこのボウリングというリクリエーションを通してのこうした行事は、スコアの出来不出来は別にして、広く参加を募ることができ、また、その互いの距離を一瞬に近く等しく出来得る青年部ならではの企画であり、もう少しで青年部を卒業するOB予備

軍としては、これらの趣旨をお酌みいただいてご参加いただいた皆様に只々感謝し、また今後の益々の青年部活動の充実を切に願うところであります。



当日のお世話いただきました原部長以下厚生事業担当の皆様に感謝申し上げるとともに、ご声援頂きました同レーンの方々にも厚く御礼申し上げまして、拙いわたくしの「ボウリングも勝ってしまった」記といたします。ありがとうございました。(まだ、この後があったのです。続きは「近税なにわ」をご高覧ください)



入船! 皆さん、よろしく



西 川 弘 晃

この度、青年部に入会させていただきました西川弘晃と申します。現在の中谷裕之先生の下で仕事をしております。9月17日の定期総会では研修委員を拝命いたしました。

青年部での経験が浅く不安と戸惑いを感じますが、榮村研修委員長の下で素晴らしい研修会を企画します。また、やる気満々ですので研修にとどまらず、厚生や広報にも精力的に参加して新風を吹き入れたいと思いますので乞うご期待下さい。



西 本 毅

この度、浪速支部青年部に入会させていただきました西本毅でございます。

たくさんの方々のお力添えにより、猛暑の8月末に税理士登録ができました。前職が国税専門官であったことから、ある程度税理士業務というのをわかっていたつもりですが、いざはじめますと、日々の仕訳から代表者一族の相談等、相談内容の幅の広いこと広いこと。奥が深く、人間力が求められています。未熟者です。日々研鑽し、志は高く、努力して参る所存でございます。

諸先輩の皆さま、何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



ファミリー参加レクリエーション

比叡山ガーデンミュージアム
大津プリンスホテル
瀬田川クルーズ

西川 弘 晃



初めてファミリーレクリエーションに参加させて頂きました。家族での参加でしたので、その日まではファミリーレクリエーションが正直憂鬱でした。小学校二年生の子供が何しでかすかわからないし、二歳の娘は突然泣き叫ぶので皆さんにご迷惑が掛からないか心配でした。

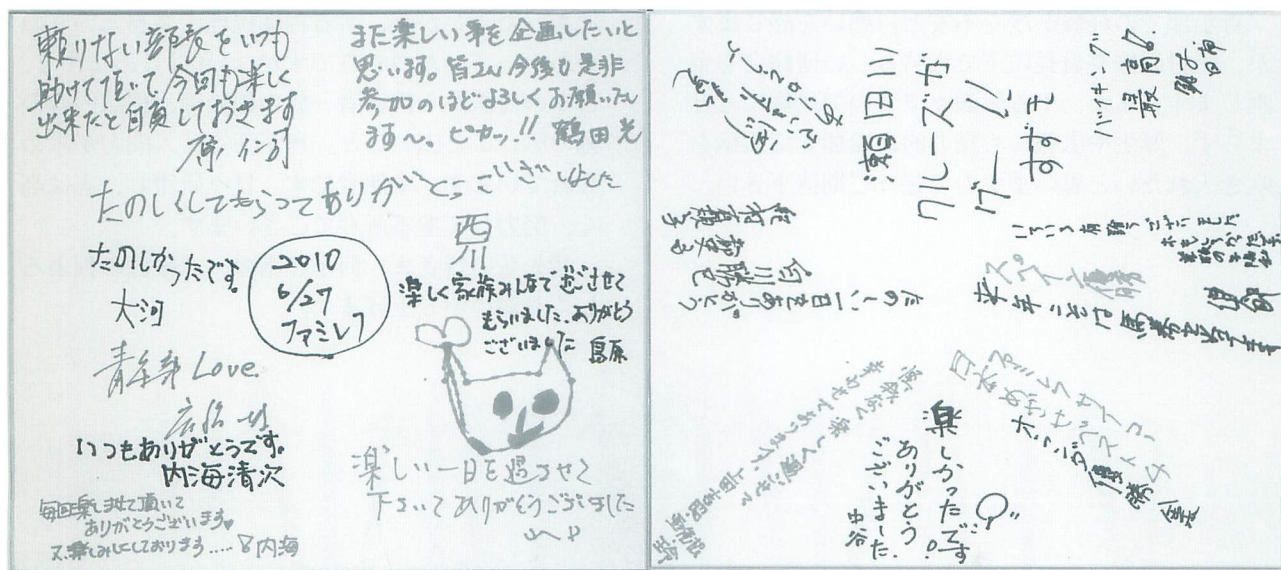
しかし、当日の朝、二階建バスのおかげで子供たちは大はしゃぎです。子供たちの高いテンションで難波からガーデンミュージアム比叡に向かいました。高い目線から見下ろす景色が良かったのか、いつもの子供たちと違い静かにおとなしく比

叡に着く2時間はとても早く感じました。ガーデンミュージアム比叡では蛙の卵？を発見しずっと見入ってました。が、目を離した時にはいつものように走り、暴れてました。本当に皆さんに申し訳なく日頃の子供に接する態度に反省致しました。

昼は大津プリンスホテルで食事です。子供が大好きなバイキングです。好きな食べ物ばかり黙ってこっそり取ってました。普段は野菜をもっと食べろと注意するのですがこの日ばかりは何も言わなかったので調子に乗って好きな物しか口に運んでなかったです。またこの昼食時、初めて山口先生の素顔を見せて頂きました。

この後、船に乗るためバスで移動しました。この移動中、子供たちは二階の一番前に座らせて頂きました。上の子供はこれが一番の思い出になったみたいです。それから遊覧船に乗って願い事を書いた風船を飛ばし、はるか上空に消えていきました。

家内、子供もファミレクを楽しんだみたいでまた是非とも来年も参加したいと言っていました。初めて参加させて頂いて私達家族に対して温かく優しく接して頂いた先生方には本当に感謝しております。本当に有り難うございました。



山に行ったよ

猿 木 大 河



6月27日日曜日、ぼくはひえい山にあるガーデンミュージアムひえいに行きました。2かいだてバスで行きました。バスは1ばん前のせきにの

りました。けしきを見ると、アトラクションみたいでおもしろかったです。

山をのぼりはじめたら天気がわるくなって、白いこながななめにふっているのを見て、「なんで、こんなことになるのかなあ。」とお母さんに聞きました。お母さんも、「ふしぎやなあ。」と言いました。お母さんがわからないなんてびっくりしました。そのあと、お母さんが、「きりちゃうかあ。」と言いました。

そして、花ばたけを見て、エッフェルとうの小さいもけいをかってもらってから、バスにのってふねにのりに行きました。ふねは1じかんも川をわたります。そしてバスにのりながらヤッターマンのビデオを見て帰りました。

ふねにのったことが1ばんたのしかったです。そのときに、ふうせんにねがいごとを書いて、空にとばしました。

ご 最 員 に !

—私のお勧め—

中華ダイニング 華 龍



金 本 昌 史

今回紹介させていただくのは、地元浪速区・日本橋にある「中華ダイニング華龍」です。

この店の売りは萌え萌えのメイド喫茶とは一線を画す美人女将さんと、中国出身の「燃えよドラゴン」風のご主人が作る中国の東北・四川料理です。

中国の方がよく来店されるため、壁に貼ってあるメニューは見慣れない漢字が多いですが、何を食べてもおいしいです。ただ、四川料理であるため辛いかどうかお店の人に聞いて注文したほうが安全(?)です。

店の看板メニューは「華龍サラダ」「鉄板豆腐」「A菜炒め」です。何気に「餃子」もおススメです。ただ今ランチでは、台湾ラーメンと炒飯セット650円と大変お得です。さらに青島ビールのほかたくさんの中国酒もそろえております。

寒くなるこれからの季節は、「四川火鍋」がおススメです。一つの鍋を半分に分けて2つの味が

楽しめるとてもお得な料理です。辛いものの好きの方にはたまりません。

また、熱い料理を食べた後は、歩いて30秒ほど先にある「日本橋湯」で汗を流してみたいかがでしょう？

スッキリすると思いますよ!!

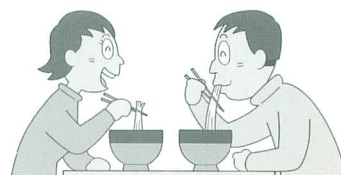
メニュー

ランチ

唐揚げ定食	580円
台湾ラーメン、炒飯	650円(期間限定)
揚げそば定食	750円

炒飯	580円
華龍サラダ	750円
鉄板豆腐	850円
A菜炒め	900円
四川火鍋(3~5人前)	3,980円
ごま団子	350円

◎次回は山口先生です。乞うご期待。



平成21年度 青年部活動だより

I 役員会開催関係

・H21.9.3	「定期総会・意見交換会」の第1回打合せ	551 蓬莱パンチャン	出席者 11名
・H21.9.14	「定期総会・意見交換会」の第2回打合せ	アサヒスーパードライOCAT店	出席者 13名
・H21.10.5	「冬季研修会・意見交換会」の第1回打合せ	大一楼バーン元町店	出席者 5名
・H21.10.15	「冬季研修会・意見交換会」の第2回打合せ	アサヒスーパードライOCAT店	出席者 13名
・H21.10.28	「冬季研修会・意見交換会」の第3回打合せ	551 蓬莱パンチャン	出席者 11名
・H21.12.10	「冬季研修会・意見交換会」の第4回打合せ	焼肉 まるよし	出席者 9名

II 活動関係

・H21.9.25	「第14回定期総会・意見交換会」開催	道頓堀ホテル	出席者 35名
・H21.11.6	「なみせいだより」第17号 編集・初校会議	レコッコレ	出席者 7名
・H21.11.18	「なみせいだより」第17号 最終校正会議	シノワーズ厨花	出席者 7名
・H21.11.30	「なみせいだより」第17号 発送準備	原仁一事務所内	出席者 5名
・H21.12.1	「なみせいだより」第17号 発刊		
・H21.12.18	「冬季研修会・意見交換会」開催	なにわクルーズ	出席者 35名
・H22.4.9	「ファミリー参加レクリエーション」第1回打合せ	551 蓬莱パンチャン	出席者 10名
・H22.5.20	「ファミリー参加レクリエーション」委員長会議	551 蓬莱パンチャン	出席者 4名
・H22.6.7	「ファミリー参加レクリエーション」第2回打合せ	551 蓬莱パンチャン	出席者 11名
・H22.6.7	「ボウリング大会」	サンボウル	出席者 38名
・H22.6.24	「ファミリー参加レクリエーション」第3回打合せ	食道園	出席者 6名
・H22.6.27	「ファミリー参加レクリエーション」開催	比叡山ガーデンミュージアム他	出席者 35名

* 編集後記 *

なみせいだよりをご愛読いただきありがとうございます。毎年12月に発表される「今年の漢字」、2009年は「新」でした。政権交代を始め、いろいろな「新しいこと」に期待を込めて迎えた2010年でしたが、皆様にとってはどんな「新しいこと」がありましたか？（筆者にとっては、初めて歌舞伎を観に行ったことが、未知の世界の新発見でした。登場人物の「関係図」を作成してから行きました。）

青年部としても、ちょっとした新しいことに取り組んで行こうと、いつも知恵を絞っております。今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

（猿木真紀子 記）